

**施策体系シート(行政経営Bシート)**

作成者	組織	観光推進課	職	課長	氏名	宗田 好雄
作成者	組織	交流政策課	職	課長	氏名	清水 克弥
評価者	組織	観光推進課	職	課長	氏名	浅田 隆

施策	施策の目標	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		評価
					(年度)	(年度)	
施策1	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進	観光入り込み客数	千人	25,000 (H26)	21,546 (H22)	20,985 (H23)	B

施策の目標達成に向けて重点的に取り組むべき課題							課題に対する主な取り組み				評価		
施策	課題	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		事務事業	対象	予算 (千円)	決算 (千円)	事業の有効性	今後の方向性	
					(年度)	(年度)							
施策1	課題1	体験交流観光の推進	グリーン・ツーリズム参加者	千人	2,800 (H26)	2,328 (H22)	2,345 (H23)	グリーン・ツーリズム交流拡大事業費	農山漁業従事者	3,000	2,133	B	継続
	課題2	観光地や温泉地の魅力アップと活性化	観光地入り込み客数	千人	54,886 (H26)	41,033 (H22)	40,003 (H23)	観光地活性化推進事業費	市町等	26,120	26,120	A	継続
	課題3	イベント、コンベンションの振興	コンベンション開催・参加者数	件・人	400・96,800 (H26)	353・75,575 (H22)	362・73,999 (H23)	1 戦略的コンベンション推進事業費補助金	コンベンション主催者	4,952	4,952	A	継続
								2 フードピア開催費補助金	県外観光客	5,600	5,600	A	継続
								3 金沢城・兼六園四季物語開催事業	一般観光客	10,427	10,427	B	継続
	課題4	おもてなしの充実	観光地入り込み客数	千人	54,886 (H26)	41,033 (H22)	40,003 (H23)	再掲 観光地活性化推進事業費	市町等	26,120	26,120	A	継続
	課題5	人材の育成	ボランティアガイド団体・参加者数	団体・人	30・800 (H26)	25・836 (H22)	25・836 (H23)	1 ウェルカムいしかわ推進事業	観光事業者、一般県民	4,100	4,100	B	拡大
2 観光人材活用事業								観光業務中堅従事者	560	544	B	継続	
課題6	効果的な情報発信	観光地入り込み客数	千人	54,886 (H26)	41,033 (H22)	40,003 (H23)	ほっと石川観光キャンペーン事業費	3大都市圏等観光客、旅行業	55,850	55,850	A	継続	

交流政策課からの移管分

施策の目標達成に向けて重点的に取り組むべき課題							課題に対する主な取り組み				評価		
施策	課題	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		事務事業	対象	予算 (千円)	決算 (千円)	事業の有効性	今後の方向性	
					(年度)	(年度)							
施策1	課題1	新ほっと石川観光プランの推進 (3大都市圏誘客1000万人構想の推進)	1 隣県からの入込状況	千人	3,150 (H26)	2,605 (H22)	2,607 (H23)	ナイトツアー開発支援事業費	一般観光客	1,500	1,500	B	拡大
			2 3大都市圏からの入込状況	千人	10,000 (H26)	7,268 (H22)	6,969 (H23)						

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	グリーン・ツーリズム交流拡大事業費	事業開始年度	H19	事業終了予定年度	H24	作 組 織	観光推進課
		根拠法令 ・計画等	新ほっと石川観光プラン			成 職・氏名	専門員 青木 雅代
						者 電話番号	076 - 225 - 1542 内線 3951

<p>事業の背景・目的 都市と農山漁村の交流拡大を図るため、農家民宿開業講座の開催や温泉地と連携した着地型観光メニューづくりなど、受け入れ体制の整備に取り組み、本県におけるグリーンツーリズムの受入体制の推進を図る。</p> <p>事業の概要</p> <p>1 受入体制整備事業 (1) 農家民宿開業講座・相談会の開催 (2) 体験にかかる安全性確保のための研修会の開催</p> <p>2 グリーン・ツーリズム誘客推進事業 (1) 温泉観光協会との連携 ・温泉地の宿泊者をターゲットとしたグリーン・ツーリズム体験への誘客を図るため、グリーン・ツーリズム研究会と各温泉観光協会の協力体制を構築 ・体験等メニュー（2時間程度の体験）化、システム化の検討 (2) グリーン・ツーリズムガイドマップの作成（7,000部） (3) グリーン・ツーリズムイベントパンフレットの作成（7,000部×2回）</p> <p>3 子ども農山漁村交流プロジェクト推進事業 (1) 地域の受け入れ協議会の指導 (2) ホームページ、雑誌等でPR (3) パンフレット作成による学校への事業の活用PR</p> <p>事業の効果 (1) リピーターの確保が図られる。 (2) 長期に受け入れることにより、受入者の経営安定につながる。</p> <p>これまでの見直し状況 (1) 子どもプロジェクトは、H20年度に奥能登地域、H21年度は七尾地域、H22年度は志賀町において受入協議会を設立。 (2) 着地型観光を一層推進するため、温泉地等とタイアップした旅行商品の造成を目指す。</p>	施策・課題の状況							
	施策	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進					評価	B
	課題	体験交流観光の促進						
	指標	グリーン・ツーリズム参加者				単位	千人	
	目標値	現状値						
	平成26年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度		
	2,800	2,306	2,296	2,368	2,328	2,345		
	事業費							
	(単位:千円)							
	事業費	予算	3,000	3,600	3,600	3,460	3,000	
	一般	決算	3,000	3,600	3,600	2,263	2,133	
	財源	予算	1,000	2,000	400	400	400	
	事業費累計	決算	1,000	2,000	400	400	400	
	評価							
	項目	評価	左記の評価の理由					
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	民宿開業講座の開催により農家民宿の許可手続きを進める者(2軒)が出てきたことや、グリーン・ツーリズムの誘客促進活動を展開してきたことにより、体験交流観光が促進され、グリーン・ツーリズム参加者の維持につながった。						
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	一定の効果が出ているが、受入体制の整備状況や誘客の取り組みに地域差があり目標達成に至っていないことから、引き続き本事業により受入体制の整備に取り組む必要がある。						

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	観光地活性化推進事業	事業開始年度	H20	事業終了予定年度		作 組 織	観光推進課
		根拠法令 ・計画等	新ほっと石川観光プラン	成 職・氏名	専門員 西本 史恵	者 電話番号	076 - 225 - 1542 内線 3945

**(事業の背景・目的)**  
 温泉地に代表される主要観光地等の活性化を図るため、県の「新ほっと石川観光プラン」を踏まえ、各観光協会、広域観光協会等が実施するハード・ソフト事業に対し、支援を行う。

**(事業の概要)**  
 観光地ブランド化推進支援事業 24,320千円

1 観光地ブランド化推進事業(ソフト事業)

(1) 対象事業

- 観光地の活性化を図るため、市町が策定した観光振興計画に基づき新たな観光資源の掘り起こしや地域の個性を活かした観光地づくりなどのブランド化を図るソフト事業に対する支援  
 事業例：観光資源のブランド化、個性あるイベントの実施など
- 外国人観光客の受入整備に係るソフト事業に対する支援  
 事業例：外国人観光客に対応したパンフレットの作成、総合案内サインの整備、人材育成など

(2) 交付先：市町

(3) 経費負担：1/3(上限4,000千円/温泉地等)、市町1/3、実施主体(観光協会等)1/3

2 観光地広域連携推進事業

(1) 対象事業

- 広域的に観光地の魅力を高めるための受入整備や集客力・利便性の向上を図るソフト事業に対する支援

(2) 交付先：広域観光協会

(3) 経費負担：県 1/3(上限5,000千円/協会)、実施主体(広域観光協会) 2/3

3 観光地活性化整備事業(ハード事業) 平成22年度は要求なし

(1) 対象事業

- 各市町が策定した計画に基づき、観光客の利便性向上や観光地の魅力をアップするためのハード事業に対する支援  
 事業例：案内看板の整備、駐車場の整備など

(2) 交付先：各市町(総湯等温泉施設の事業主体が総湯管理団体の場合は、総湯管理団体)

(3) 補助率、補助限度額

- ①補助率：事業費×(1-地元負担1/10)×1/4以内
- ②補助限度額：10,000千円(事業費10,000千円以下の事業は、補助対象外とする。)  
 (ほかに事務費1,800千円)

**(これまでの見直し状況)**

H17：「個性豊かな温泉地まちづくり推進事業費補助金」、「温泉地街並み等修景整備促進事業費補助金」、「快適観光空間整備促進事業費補助金」を廃止。「観光地等再生計画策定支援事業費補助金」を統合「観光地魅力創出整備事業」、「観光地魅力創出推進事業」、「ユニバーサルデザイン推進事業」を創設

H19：「観光地魅力創出整備事業」、「観光地魅力創出推進事業」、「ユニバーサルデザイン推進事業」を廃止

<b>施策</b>	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進					<b>評価</b>	B
<b>課題</b>	観光地や温泉地の魅力アップと活性化						
<b>指標</b>	観光地入り込み客数					<b>単位</b>	千人
<b>目標値</b>	<b>現状値</b>						
	平成26年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	54,886	36,230	38,960	39,823	41,033	40,003	
<b>事業費</b>							
(単位:千円)	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度		
事業費	予算	28,800	28,800	26,120	26,120		
	決算	22,250	28,800	26,120	26,120		
一般	予算	28,800	28,800	26,120	26,120		
財源	決算	22,250	28,800	26,120	26,120		
事業費累計		22,250	51,050	77,170	103,290		
<b>評価</b>							
<b>項目</b>	<b>評価</b>	<b>左記の評価の理由</b>					
事業の有効性  (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	A	温泉地の新たな魅力付けに寄与したほか、地元でも関連イベントが開催されるなど、本事業を通じて魅力的で個性ある観光地の形成に向けた取り組みが進められた。					
今後の方向性  (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	本県観光の継続的な発展のためには、リピーター客が多い観光地や温泉地が理想とされることから、観光地を常日頃から磨き上げていくことはもとより、新たな魅力の創出を図り、何度訪れても飽きない新鮮な観光地を形成していくことが重要である。 このため、地域の特性を活かした魅力ある観光地となるため、地元自治体、観光関係団体、地域、観光業界などが引き続き一体となり、取り組んでいく。					

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

<b>事務事業名</b>	戦略的コンベンション誘致推進事業費補助金	<b>事業開始年度</b>	S63	<b>事業終了予定年度</b>		<b>作 組 織</b>	観光推進課	
		<b>根拠法令 ・計画等</b>	新ほっと石川観光プラン			<b>成 職・氏名</b>	専門員 西本 史恵	
							<b>者 電話番号</b>	076 - 225 - 1538 内線 3950

**事業の背景・目的**

学会等の誘致を促進するために、(財)金沢コンベンションビューローが実施する各種PR活動を支援し、地域経済の活性化を図る。

- 事業の概要**
- 1 コンベンション都市推進事業
    - ・国際コンベンションの情報収集、キーパーソン招請など、日本政府観光局マーケティング事業を活用して実施する。
    - ・東京で開催される国際ミーティング・エキスポに参加するほか、より多くの開催決定者との商談を行う
  - 2 コンベンション活性化推進事業
    - (1) 着地型情報提供事業
      - ・コンベンション参加者にとって利便性が高く、持ち運びやすいサイズのガイド冊子として「コンベンションナビ2009」を作成し、街中の回遊性向上や消費拡大につなげる着地情報として配布・提供する。
    - (2) インターネット発信強化事業
      - ・コンベンション主催者及び参加者に対し、注目度を高めるホームページを展開するほか、「YouTube」を利用して動画のリンクや、Googleマップを活用した施設検索など利便性を高めた。
    - (3) 接遇スキルアップセミナー開催事業
      - ・当地でのコンベンション開催時に顧客満足をこれまで以上に高めるため、サプライヤーである賛助会員向けに多種多様な要望におもてなしの心で即応出来る人材を育成するセミナーを開催する。
    - (4) 加賀・能登ランチ活性化事業
      - ・加賀及び能登に各ランチを設置し、県下全域にコンベンション事業を浸透、普及させ、速やかに誘致・支援・受入を図るための活動をする。
  - 3 MICE推進事業
    - (1) MICE誘致事業
      - ・国際学会等の誘致を積極的に進めるために、中国と韓国をターゲットに商談会や展示会等を通じて、石川・金沢の魅力を積極的にアピールしていく。
    - (2) 石川MICE推進事業
      - ・石川、金沢をより具体的にPRするためパンフレットを作成し、セールスツールとして活用する。

**これまでの見直し状況**

平成12年に加賀・能登ランチを小松・七尾商工会議所内に開設し、コンベンションの県下全域対応ができるよう、組織強化を図った。

施策・課題の状況						
<b>施策</b>	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進				<b>評価</b>	B
<b>課題</b>	イベント、コンベンションの振興					
<b>指標</b>	コンベンション開催・参加者数				<b>単位</b>	件・人
<b>目標値</b>	現状値					
	平成26年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
	400	328	302	324	353	362
	96,800	102,251	92,237	74,715	75,575	73,999

事業費					
<b>(単位:千円)</b>	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
<b>事業費</b>	予算 5,600	4,820	4,952	4,952	4,952
	決算 5,600	4,820	4,952	4,952	4,952
<b>一般</b>	予算 5,600	4,820	4,952	4,952	4,952
	決算 5,600	4,820	4,952	4,952	4,952
<b>財源</b>	予算 5,600	4,820	4,952	4,952	4,952
	決算 5,600	4,820	4,952	4,952	4,952
<b>事業費累計</b>	91,190	96,010	100,962	105,914	110,866

評価	
<b>項目</b>	<b>評価</b>
<b>事業の有効性</b> (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	A 左記の評価の理由 (財)金沢コンベンションビューローは学会、大会などのコンベンション開催のため、海外及び国内のトレードショーへの参加・情報提供や国際会議等のキーパーソンの招聘など積極的な誘致活動を展開しており、会議の開催数自体は伸びている。
<b>今後の方向性</b> (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続 石川県へのコンベンション誘致を進めるため、平成21年3月に「石川県コンベンション誘致推進計画」を策定した。平成26年度の北陸新幹線の金沢開業を見据え、「コンベンション誘致推進計画」に基づき、企業等への直接訪問による計画的アプローチにより、年度間及び季節毎にバランスのとれたコンベンションの誘致に引き続き取り組んでいく。

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

<b>事務事業名</b> フードピア開催費	<b>事業開始年度</b> S60	<b>事業終了予定年度</b>
	根拠法令 ・計画等 新ほっと石川観光プラン	

<b>作</b>	組	織	観光推進課
<b>成</b>	職・氏名	専門員	池田 真弘
<b>者</b>	電話番号	076 - 225 - 1542	内線 3945

**事業の背景・目的**  
 石川らしい観光地づくりを目指し、観光資源の多様な活用により、観光地の活性化を図るため、観光石川の魅力を県内外にアピールすることで、本県のイメージアップと観光誘客の促進を図る。

**事業の概要**  
 ○フードピア金沢開催事業費補助

**(1) 事業目的**  
 フードピア金沢は当地ならではの「風土」とそれが育てた「食」を体験する機会を広く提供することにより、石川の食と伝統文化を県内外に発信するものである。特に観光閑散期に実施することにより、県外観光客の誘客につなげ、地域経済に寄与することを目的とする。

- (2) 事業実績**
- ① 期 日 平成24年2月1日(水)～29日(水)／1ヶ月間
  - ② 会 場 金沢市内
  - ③ 内 容 食談 2月10日(金)～11日(土)／2日間  
 雪見のうたげ 2月9日(木)～11日(土)／3日間  
 フードピアランド 2月10日(金)～12日(日)／3日間  
 しいのき迎賓館を中心としたエリアでのイベント  
 2月 1日(水)～28日(水)／1ヶ月間

**補助金交付先: フードピア金沢開催委員会**

**これまでの見直し状況**  
 第21回目を迎える平成17年度の事業から、イベント参加者の裾野を広げる取り組みとして、Myフードピア事業を展開。これまでの食談、雪見宴会、フードピアランドの基本3事業の他にフードピア特別メニューの提供や老舗の店舗を活用したプチ食談を開催するなど、新しい参加者を増やす。また、県外からの誘客を目的に、旅行会社とのタイアップ等も図る。  
 また、平成22年度は約20会場で行われていた食談については、料金を上限2万円に改め、厳選した有名料亭6会場にて、より廉価で著名人と語らいを楽しめるようにした。

施策・課題の状況							
<b>施策課題</b>	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進					<b>評価</b>	B
	イベント、コンベンションの振興						
	指標	コンベンション開催・参加者数				単位	件・人
	目標値	現状値					
	平成26年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	400	328	302	324	353	362	
	96,800	102,251	92,237	74,715	75,575	73,999	

事業費						
(単位:千円)		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
事業費	予算	7,695	7,000	5,600	5,600	5,600
	決算	7,695	7,000	5,600	5,600	5,600
一般	予算	7,695	7,000	5,600	5,600	5,600
	決算	7,695	7,000	5,600	5,600	5,600
財源	決算	7,695	7,000	5,600	5,600	5,600
事業費累計		16,695	23,695	29,295	34,895	40,495

評価	
項目	評価 左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	A 開催期間中の総参加者数は16万7千人を超え、金沢の観光客誘致に貢献している。
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続 「一部の人が楽しめない」との声が上がっていた「食談」の規模を平成22年度に縮小し、新たに地元食材にこだわった舞台公演を赤羽ホールで実施したほか、しいのき迎賓館や3つの茶屋街の検番を舞台に料理とトーク、芸妓を鑑賞する催しを市内の各所で開催するなど、参加者のニーズを踏まえ、内容を見直しながら継続して実施する。

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 金沢城・兼六園四季物語開催事業費	事業開始年度	H14	事業終了予定年度		
	根拠法令	新ほっと石川観光プラン			
	計画等				

作成者	組織	観光推進課			
	職・氏名	主事 表 亜寿美			
	電話番号	076 - 225 - 1542 内線 3952			

**事業の背景・目的**  
 石川らしい観光地づくりを目指し、観光資源の多様な活用により、観光地の活性化を図るため、金沢城公園や兼六園などを舞台に新しい観光の魅力を演出するイベント等を四季を通じて開催し、観光石川の魅力を県内外にアピールすることで、本県のイメージアップと観光誘客の促進を図る。

**事業の概要**  
**金沢城・兼六園ライトアップ**・・・四季折々の金沢城・兼六園の特徴を活かしたライトアップ・イベント  
 《初夏の段》 平成23年 6月上旬  
 《秋の段》 平成23年 9月中旬、11月中旬  
 《冬の段》 平成24年 2月上旬

負担金交付先: 石川の四季観光キャンペーン実行委員会

施策・課題の状況							
施策	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進					評価	B
課題	イベント、コンベンションの振興						
	指標	コンベンション開催・参加数				単位	件・人
	目標値	現状値					
	平成26年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	400	328	302	324	353	362	
	96,800	102,251	92,237	74,715	75,575	73,999	

事業費						
(単位:千円)		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
事業費	予算	16,000	12,800	10,240	10,240	10,427
	決算	16,000	12,800	10,240	10,240	10,427
一般	予算	16,000	12,800	10,240	10,240	10,427
財源	決算	16,000	12,800	10,240	10,240	10,427
事業費累計		40,000	52,800	63,040	73,280	83,707

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	石川県ならではの個性あるイベントとして県外観光客にも人気が高く、大手旅行会社が商品化するなど、多くの観光客に楽しんでいただき、本県への観光誘客に繋がった。
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	北陸新幹線金沢開業を見据え、宿泊しなければ体験できない夜の観光資源としての魅力をさらに高めるために、開催期間の延長などを検討する。

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

<b>事務事業名</b>	ウェルカムいしかわ推進事業	<b>事業開始年度</b>	H22	<b>事業終了予定年度</b>		<b>作組織</b>	観光推進課		
		<b>根拠法令 ・計画等</b>	STEP21				<b>成職・氏名</b>	主事 表 亜寿美	
						<b>者電話番号</b>	076 - 225 - 1542 内線 3952		

**事業の背景・目的**  
 3年後に迫った北陸新幹線の金沢開業を見据え、県民総ぐるみで「おもてなし」の向上を図るため、(1)観光事業者の指導者層の底上げ、(2)地域住民も加わった一般県民の「おもてなし運動」の推進を目的とした事業を実施してきたが、23年度はこうした取り組みを県民運動として発展させるため、自治体、観光関連事業者、商工団体、女性団体等の代表者からなる全県的な推進組織を発足させるほか、一般県民の意識向上を図るため、「おもてなし講座」等の拡充を行う。

- 事業の概要**
- 1 「ほっと石川おもてなし推進協議会」の設立  
 県内の観光事業者、交通事業者、行政等が参加する「ほっと石川おもてなし推進協議会」を設立した。
  - 2 観光おもてなし塾の開催  
 おもてなしの最前線で働く方々を対象に、少人数による塾(講義、意見交換)を実施し、将来の観光マイスターを視野に入れた、次世代リーダーを養成する。  
 塾生:16名 宿泊施設、観光施設、交通機関等で働くリーダー等  
 回数:年6回
  - 3 おもてなし講座の開催  
 地域住民を対象に「おもてなし向上」を図り、本県のイメージアップを目指すため女性団体、PTA等の地域の会合に講師(観光マイスター等)を派遣し、「おもてなし」の重要性を考えるきっかけを与える。  
 対象:公民館、女性団体、PTA等が開催する会合、セミナー等の参加者  
 回数:34回(H22:32回)
  - 4 「石川のおもてなし」WEBサイトの立ち上げ  
 おもてなしの向上に取り組む企業、団体等(おもてなし講座を実施など)を紹介するHPを立ち上げ、積極的に取り組む企業のイメージアップ等を図ることにより、おもてなし向上の取り組みを広げる。

施策・課題の状況						
<b>施策</b>	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進				<b>評価</b>	B
<b>課題</b>	人材の育成					
<b>指標</b>	ボランティアガイド団体・参加者数				<b>単位</b>	団体・人
<b>目標値</b>	<b>現状値</b>					
平成26年度 30団体:800人	平成19年度 28団体:820人	平成20年度 26団体:993人	平成21年度 26団体:1040人	平成22年度 25団体:836人	平成23年度 25団体:836人	

事業費						
(単位:千円)		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
<b>事業費</b>	予算				5,000	4,100
	決算				5,000	4,100
<b>一般財源</b>	予算				5,000	4,100
	決算				5,000	4,100
<b>事業費累計</b>					5,000	9,100

評価			
<b>項目</b>	<b>評価</b>		
<b>事業の有効性</b> (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">B</td> <td>観光事業者、交通事業者をはじめ、地域住民など、県内全域で「おもてなし」向上に向けた取り組みを実施し、おもてなし意識の醸成を図った。県が率先しておもてなし力向上の取り組みを行うことで、各地域や団体による自発的な取り組みも広がってきた。</td> </tr> </table>	B	観光事業者、交通事業者をはじめ、地域住民など、県内全域で「おもてなし」向上に向けた取り組みを実施し、おもてなし意識の醸成を図った。県が率先しておもてなし力向上の取り組みを行うことで、各地域や団体による自発的な取り組みも広がってきた。
B	観光事業者、交通事業者をはじめ、地域住民など、県内全域で「おもてなし」向上に向けた取り組みを実施し、おもてなし意識の醸成を図った。県が率先しておもてなし力向上の取り組みを行うことで、各地域や団体による自発的な取り組みも広がってきた。		
<b>今後の方向性</b> (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">拡大</td> <td>北陸新幹線金沢開業が迫る中、「おもてなし」向上の運動を県内へ波及させるため、各地域で特色ある推進大会を開催するなどの拡充を行う。</td> </tr> </table>	拡大	北陸新幹線金沢開業が迫る中、「おもてなし」向上の運動を県内へ波及させるため、各地域で特色ある推進大会を開催するなどの拡充を行う。
拡大	北陸新幹線金沢開業が迫る中、「おもてなし」向上の運動を県内へ波及させるため、各地域で特色ある推進大会を開催するなどの拡充を行う。		

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 観光人材活用推進事業	事業開始年度 H17	事業終了予定年度	作 組 織 観光推進課
	根拠法令 ・計画等	新 ほっと石川観光プラン	成 職・氏名 主事 表 亜寿美 者 電話番号 076 - 225 - 1542 内線 3952

**事業の背景・目的**  
 本県の観光産業の牽引者として「ほっと石川観光マイスター」の顕彰制度を実施し、本県観光産業の体系的なレベルアップを図るとともに、本県の魅力である歴史・文化、自然、食などに深い専門知識を有する人を「石川県観光スペシャルガイド」として委嘱・登録し、より深い知的満足が得られる「探求型観光」を提供する。これらの取組によって、受入体制の強化を図る。

- 事業の概要**  
 1. ほっと石川観光マイスター顕彰制度
- ・名称 ほっと石川観光マイスター
  - ・対象者 県内の観光関連産業功労者
  - ・選定方法 観光マイスター選考委員会が選定
  - ・マイスター顕彰者 34名

**【選考委員】**

- ・小田禎彦(観光カリスマ、石川県観光連盟理事長)
- ・萬谷正幸(観光カリスマ、山代温泉観光協会会長)
- ・竹村節子(株式会社現代旅行研究所専務取締役、旅行作家)
- ・北陸信越運輸局石川運輸支局長
- ・石川県観光交流局次長

**【(社)石川県観光連盟実施事業】**

- ・活動内容 観光関連事業者、団体の研修講師  
観光関連事業、団体への助言  
各種講演会の講師  
観光マイスター会議の開催

2. 石川県観光スペシャルガイド活用事業

- ・名称 石川県観光スペシャルガイド
- ・委嘱年月日 平成18年9月22日
- ・広報 インターネットでの情報発信と共に、ガイドブックを旅行会社等へ配布

施策・課題の状況						
施策課題	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進				評価 B	
	人材の育成					
	指標	ボランティアガイド団体・参加者数			単位 団体・人	
	目標値	現状値				
	平成26年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
	30団体:800人	28団体:820人	26団体:993人	26団体:1,040人	25団体:836人	25団体:836人

事業費						
(単位:千円)		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
事業費	予算	1,240	740	640	560	560
	決算	1,240	740	640	560	544
一般財源	予算	1,240	740	640	560	560
	決算	1,240	740	640	560	544
事業費累計		2,793	3,533	4,173	4,733	5,277

評価	
項目	評価 左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B 観光関連産業の牽引者として他の模範たる功績のある個人を顕彰することで、業界全体の体系的なレベルアップを図っているほか、次代のリーダーを担う人材の育成にもつながっている。
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続 ほっと石川観光マイスターの選考に関し、これまでより広い分野での人材発掘を行うなど、さらなる観光人材の育成を図る。

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	ほっと石川観光キャンペーン推進事業費	事業開始年度	H6	事業終了予定年度	H26	作組織	観光推進課
		根拠法令・計画等	新ほっと石川観光プラン			成職・氏名	主任技師 水上 昌彦
						者電話番号	076 - 225 - 1539 内線 3954

**事業の背景・目的**  
「新ほっと石川観光プラン」に掲げた基本目標の達成に向け、多様化する旅行者のニーズに対応した情報発信と、本県ならではの観光素材を活かした県内の魅力を高める取組みを行うことで、本県への誘客に的確に結びつける。

**事業の概要**

**1. 情報発信事業**

1-1 認知度の向上

(1) 新 首都圏における車内映像広告上映事業  
「食」に関心の高い女性をターゲットに、中央線女性専用車両で宣伝映像を上映

(2) ホームページを通じた情報発信  
石川の食をテーマとしたホームページを作成し情報発信を展開

(3) マスメディアを活用した情報発信  
食をテーマに交通事業者や雑誌、新聞、テレビ、ラジオ等各種メディアとタイアップした事業を実施

1-2 直接訪問PRの拡大(足で稼ぐ)

(1) シルバーウェルカム事業の実施  
(2) 三大都市圏からの修学旅行の誘致

1-3 その他  
地域を限定しない効果的な情報発信  
OEK情報発信、キャンペーングッズの作成・配布など

**2. 受地取組事業**

観光地の魅力創出

(1) 安近楽イベント情報の製作による県内イベントの一覧整備  
(2) JRタイアップキャンペーンによる期間限定イベントの実施  
(3) 着地型旅行の推進  
石川にふれるたびづくり事業、加賀百万石ウォークの開催、百万石風情の旅

交付先:(社)石川県観光連盟 会長 谷本正憲

これまでの見直し状況

施策・課題の状況							
施策	3大都市圏誘客1,000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進					評価	B
課題	効果的な情報発信						
指標	観光地入り込み客数					単位	千人
目標値	現状値						
平成26年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度		
54,886	36,230	38,960	39,823	41,033	40,003		
事業費							
(単位:千円)		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
事業費	予算	96,147	91,080	98,948	74,150	55,850	
	決算	96,147	91,080	98,948	74,150	55,850	
一般財源	予算	96,147	91,080	98,948	74,150	55,850	
	決算	96,147	91,080	98,948	74,150	55,850	
事業費累計		96,147	187,227	286,175	360,325	416,175	
評価							
項目	評価	左記の評価の理由					
事業の有効性  (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	A	インターネットを活用した事業のほか、様々な観光キャンペーンなどにより、東日本大震災後の観光入り込み客数の回復に取り組んだ結果、影響を最小限に抑えることが出来た。(H22→H23:97%)					
今後の方向性  (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	新ほっと石川観光プランに掲げる「三大都市圏誘客1000万人構想達成」のため、引き続き三大都市圏からの誘客促進に取り組んでいく。					

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

<b>事務事業名</b>	ナイトツアー開発支援事業費	<b>事業開始年度</b>	H22	<b>事業終了予定年度</b>	H24	<b>作 組 織</b>	観光推進課
		<b>根拠法令 ・計画等</b>	新ほっと石川観光プラン			<b>成 職・氏名</b>	専門員 北澤 宏之
						<b>者 電話番号</b>	076 - 225 - 1452 内線 3945

**事業の背景・目的**  
北陸新幹線金沢開業を見据え、本県の夜の観光資源を組み込んだ旅行商品の造成や、販売の拡大に取り組もうとする意欲的な旅行会社等の取り組みを支援することで、本県で宿泊しなければ体験できない旅行商品の造成を促進する。

**事業の概要**

1 事業内容  
石川の夜の観光資源を活用したモデルツアーを公募し、広報費等の助成を行う。

(1) 助成対象者 石川県内に事務所、事業所等を有する旅行者及び交通事業者

(2) 助成対象事業 本県の夜の観光資源を組み込んだ旅行商品の造成・販売事業

(3) 助成内容 定額(1件あたり上限50万円) ※ただし予算の範囲内とする

(4) 助成対象経費 企画費、広告宣伝費、調査費など

(5) 公募期間 平成23年4月1日～4月30日

(6) 採択 3件 和倉ナイトクルーズ付宿泊プランほか(JTB中部 金沢支店)  
獅子吼からの夜景と鶴来の街並み散策ほか(新日本ツーリスト)  
輪島大祭見学ツアー(丸一観光)

2 実施主体 石川県・(社)石川県観光連盟

3 事業費 1,500千円

<H22年度の採択状況>

- ・夜の観光タクシーと金沢市内宿泊をセットにしたプラン (近畿日本ツーリスト)
- ・老舗料亭のオリジナル特別会席料理と芸妓のお座敷芸 ((株)トラベル・エー)
- ・能登島の海ほたる鑑賞と秋祭りの獅子舞 ((有)トラベルセンター能登)
- ・冬の風物詩「雪だるままつり」見学ツアー (北鉄航空)

施策・課題の状況							
<b>施策</b>	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進					<b>評価</b>	B
<b>課題</b>	新ほっと石川観光プランの推進						
<b>指標</b>	3大都市圏からの入り込み客数					<b>単位</b>	千人
<b>目標値</b>	現状値						
平成26年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度		
10,000	6,419	6,795	6,999	7,268	6,969		
<b>指標</b>	隣県からの入り込み客数					<b>単位</b>	千人
<b>目標値</b>	現状値						
平成26年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度		
3,150	2,437	2,419	2,583	2,605	2,607		
事業費							
(単位:千円)	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度		
事業費	予算			2,000	1,500		
	決算			2,000	1,500		
一般	予算			2,000	1,500		
	決算			2,000	1,500		
財源	決算			2,000	1,500		
事業費累計		0	0	2,000	3,500		
評価							
<b>項目</b>	<b>評価</b>	<b>左記の評価の理由</b>					
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	未活用の夜の観光資源を掘り起こすことで、旅行商品の多様化を図ることができ、採択されたモデルツアーには361名の参加があった。					
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	拡大	北陸新幹線金沢開業を控え、本県の日帰り旅行の増加が見込まれる中、宿泊しなければ体験できない夜の観光素材をテーマとした旅行商品の造成は有効な手段となり得ることから、魅力ある旅行商品をたくさん揃えるために、年間の採択件数を拡大する。					